

Library Sketch



図1

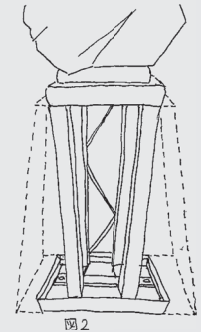


図2

ライブラリー・スケッチ

「ディケンズ像」

絵・文とも 小川遥香

この顔に見覚えはありませんか？図書館に足を運んだことのある方には馴染みの深い人物で、本館の入り口にこの胸像が飾られています。名前をCharles Dickensといい、素晴らしい作品を世に残した英国出身の小説家です。

この胸像、一見するだけでは気が付きませんが、実は立派な脚がついています。図2のよ

うに、衝撃や揺れに耐えうるため、木製の台の中では像を直接固定した柱がしっかり地を踏みしめているのです。英国人の彼にとって、日本の地震は少し不安だったのかもしれませんがね。

おがわ はるか (英米語学科4年次生)

7月のピックアップコーナー

●「日本の史跡」

稲垣宏行

夏と言えば旅行。旅行と言えば海、あるいは外国が真っ先に思い浮かびます。しかし昨今、小笠原諸島や群馬の富岡製糸場など、日本の名所も世界で少なからず認知されてきています。

今回のピックアップコーナーでご紹介するのは、日本の史跡に関する図書です。史跡とは歴史上重要な事件や施設などのあった場所です。東大寺、日光東照宮、中尊寺金色堂など日本で代表的な寺社は勿論、佐渡金山、石見銀山などの鉱山もその一つです。

史跡を探訪するのに最も適しているのは旅雑誌ですが、寺社など一定の事物に焦点を当てた書物も有用だと思われます。しかし、史跡は大きな施設、場所だけを指すとは限りま

せん。広く言えば、幕末に薩摩藩士らが諍いを起こし、坂本竜馬が襲撃され傷を負わされた寺田屋や長州・土佐の尊皇攘夷志士が新撰組に襲撃された池田屋もその中に含まれることとなります。

ピックアップコーナーでも、それらに関する図書を網羅的に紹介出来るよう取り揃えていますが、寺田屋のような町中にある旅館まで探し出すのは容易ではありません。しかし、そこは皆さんの意欲と注意力、行動力にかかっています。

夏休みも間近です。国内のどこかへ旅行に行かれる機会がありましたら、一見、何の変哲もない町中なども是非、探してみてください。

いながき ひろゆき (情報サービス課)